

電帳法
改正の

真実性は、事務処理規程で確保するけど

可視性 と **保存場所** はどうすれば？

アイオーの「電子保存セレクト」ソリューションが
お悩み、解決します！

電子帳簿保存法(電帳法)改正で、真実性を確保するための手段として、
訂正削除の防止に関する事務処理規程を策定、運用、備付けすることが認められています。
この他にも可視性の確保や、長期保管する保管場所についてはどのようにすれば良いのかとお悩みの企業様も多いでしょう。

可視性

NEW

命名くん

電帳法対応アプリ

保存性

NAS



バックアップ用HDD



NEW

長期保存用ドライブ

1 **可視性**のお悩み解決

可視性の課題の一番の問題点は、保存するPDFファイルを取引先名、日付、金額で検索できるようにファイル名変更して保存する手間が掛かることです。件数が多くなると中身を見て取引先名の統一や、検索項目の並び順を間違えずひとつずつ変更するのは非常に大きな労力となります。

電帳法アプリケーション「命名くん」なら、取引先名や、取引内容名を社員共通の登録情報として一元管理して利用することができ、取引先名をマウスで選ぶだけで会社名称の“ゆれ”を排除しながら簡単にファイル名変更できます。

同じ取引先なのに、社員によってファイル名変更に“ゆれ”があると…



2022-01-01_アイ・オー・データ機器_19800.pdf



2022-01-02_IOデータ機器_9800.pdf



2022-01-03_アイオーデータ_19800.pdf

会社名で検索できず、
可視性を確保できなくなる



2022-01-01_アイ・オー・データ機器_19800.pdf

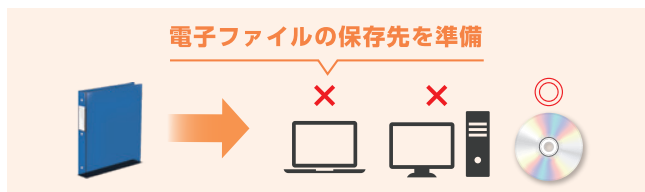
2022-01-02_IOデータ機器_9800.pdf

2022-01-03_アイオーデータ_19800.pdf

命名くん®で表記ゆれを解決！

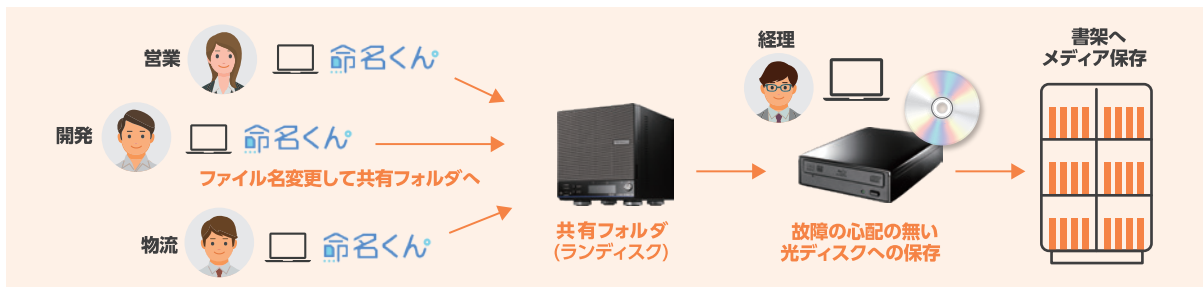
2 保存性のお悩み解決

いままで紙とバインダーで保管していた原紙がデジタルデータとなることで、紙の保管場所が無くなるメリットがありますが、紙と同じく最低でも7年間の保管が必要となります。



社員が使っているパソコンのハードディスク内に保存するのは可視性の問題からも7年保管の観点からもよくありません。

データを一元管理するためにも各部署からNASの共有フォルダへ集めて保存するだけでは不十分です。査察などでデータの提出を求められる可能性や機器の故障でデータ滅失の可能性があることから100年保存ができるとされている光メディアM-DISCへの保存をオススメいたします。



電帳法アプリケーション「命名くん」なら定期的または任意のタイミングでM-DISCへの書き込みを行う機能も搭載していますので保存忘れなどのうっかりミスも低減できます。

さらに専用のブルーレイドライブ「BRD-UT16D」は誤操作による書き換えや削除を防止するために一回記録(追加記録可能)の光ディスク専用で、書き直しができない電帳法専用設計となっています。

電帳法対応ソリューション 各企業様の現在の機器構成、業務ワークフローに合わせて、最適な商品をお選びください。

○ 検索性:電帳法アプリケーション「命名くん」

型番	仕様	価格
MM/PGSTD01A	1ライセンス/1年	¥3,960
MM/PGSTD10A	10ライセンス/1年	¥27,720
MM/PGSTD01A5Y	1ライセンス/5年	¥19,800
MM/PGSTD10A5Y	10ライセンス/5年	¥138,600

○ 保存性:NAS(ランディスク)、バックアップ用HDD、長期保存用Blu-rayドライブ

型番	仕様	価格
HDL-HABシリーズ	ファイル共有・保存用NAS	¥132,000～
HDJA-UTN/LDBシリーズ	バックアップ用外付けハードディスク	¥32,890～
型番	仕様	価格
BRD-UT16D	電帳法専用ブルーレイドライブ BDメディア(M-DISC)5枚 添付	オープン価格
BRD-UT16D/M1	電帳法専用ブルーレイドライブ 命名くん無料版、BDメディア(M-DISC)5枚、電帳法まるわかりスタートブック添付	オープン価格

※価格は全て2023年6月時点での税込価格です。